

IPBESシナリオ・モデルタスクフォース 技術支援機関のこれまでの活動内容



2025年1月29日（水）
IPBES総会第11回会合結果報告会

守分 紀子

IPBESシナリオ・モデルタスクフォース技術支援機関

IPBESの組織体制

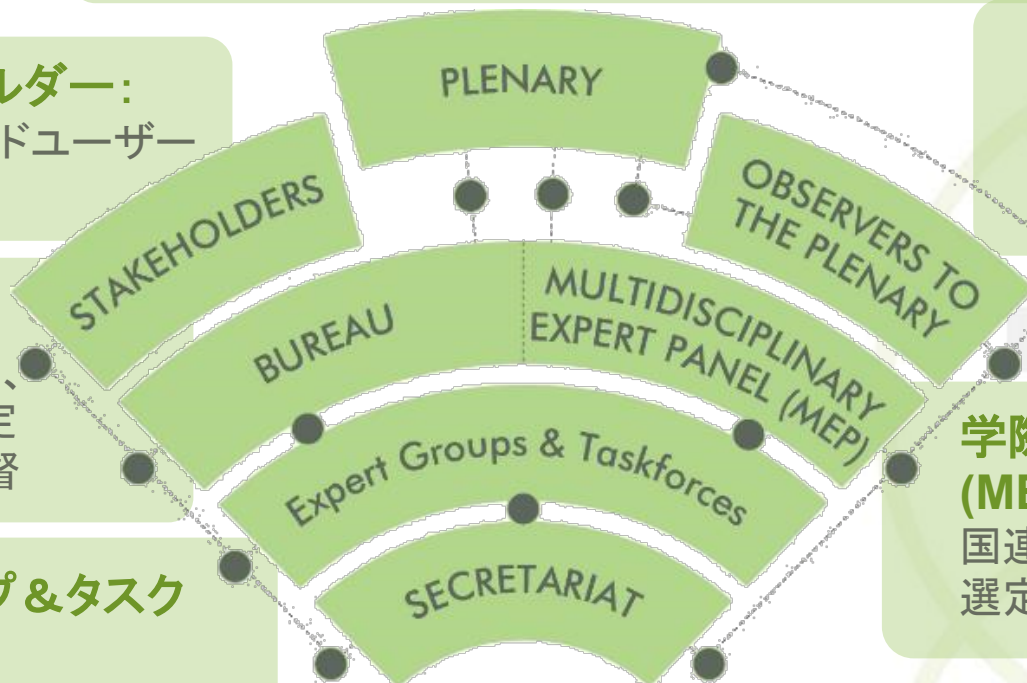
Intergovernmental science-policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services

IPBES総会: 147 の加盟国が1~2年に1回開催

ステークホルダー:
すべてのエンドユーザー
& 参画者

ビューロー:
加盟国の中から議長、
副議長、他5名が選定
され、運営全般を監督

**専門家グループ&タスク
フォース:**
推薦プロセスを経て選ばれた
科学者や専門家



オブザーバー:
関連条約、未加盟国、
国連機関、その他関
連機関

**学際的専門家パネル
(MEP):**
国連5地域から5名ずつ
選定、学術的な指導

事務局(TSUを含む): IPBES活動すべての実施・運営

現在設置されている専門家グループとタスクフォース

※ カッコ内はTSUホスト機関と国名

専門家グループ(expert group)

- 生物多様性・食料・水・健康のネクサス評価(IPBES事務局)
- 社会変革評価(モンペリエ大学(フランス))
- 企業と生物多様性評価(アレクサンダー・フォン・フンボルト研究所(コロンビア)、国連環境計画 世界自然保全モニタリングセンター)
- モニタリング評価(マギル大学(カナダ))
- 空間計画評価(選定中)

タスクフォース(task force)+α

- 能力養成(ノルウェー環境庁)
- データ管理(ゼンケンベルク自然研究機構(ドイツ))
- 先住民・地域社会の知識体系(ユネスコ)
- シナリオ・モデル(IGES(日本))
- 知見生成(選定中)
- 政策支援ツール(国連環境計画 世界自然保全モニタリングセンター)

斜体字はタスクフォースが設置されておらず、MEP・ビューローが直接監督しているもの

IGESがホストする技術支援機関(TSU)の変遷

IPBES事務局コア予算及び
環境省拠出金により運営

2015年6月

アジア・太平洋地域
アセスメント技術支援機関

2019年12月

2019年2月

侵略的外来種評価
技術支援機関

2024年8月

2024年3月

シナリオ・モデルタスクフォース
技術支援機関 (IGES)

2023年末

シナリオ・モデルタスクフォース
技術支援機関(オランダ環境庁)

IPBESシナリオ・モデルタスクフォースの概要

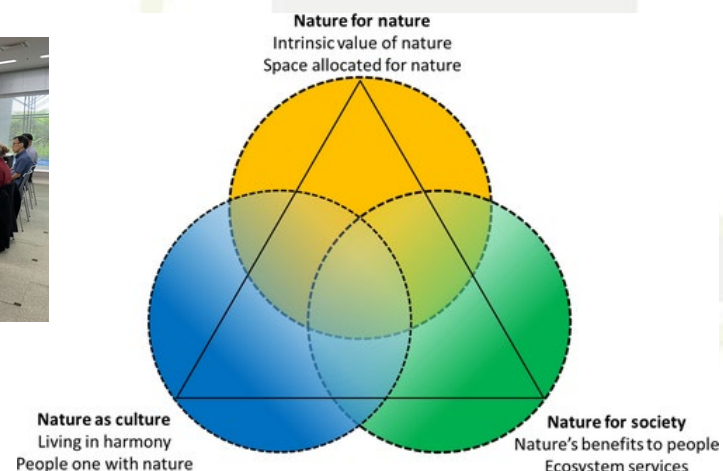
- 国連5地域から選出された19名の専門家で構成。
- 生物多様性等のシナリオ・モデルに関するプログラム実施や、IPBESの各種アセスメントに対する助言や支援を実施。
- 生物多様性に関する将来シナリオ開発のツール「Nature Futures Framework」の活用推進に力を入れている。
- 環境省の支援により、(公財)地球環境戦略研究機関に技術支援機関が設置

■ 共同議長	2名
■ タスクフォース専門家	15名
■ フェロー	2名

※うち日本人専門家

橋本禪(東大、共同議長)

齋藤修(IGES、タスクフォース専門家)



シナリオ・モデルタスクフォースの活動概要

IPBES評価のシナリオ・モデル分野に対する支援

- 実施中のIPBES評価の執筆者への助言、外部レビュー参加
- 新たに開始されるIPBES評価のシナリオ・モデル専門家の動員
- 多様な知識体系をシナリオ・モデル分野に反映させるためのワークショップ開催 等

シナリオ・モデル分野の様々な活動主体(Community of Practice)との対話促進

- 生物多様性分野のシナリオ作成の促進
- シナリオ・モデル分野に関するIPBESガイダンスの提供
- Nature Futures Frameworkの活用事例の収集
- シナリオ・モデル分野に関する知識ギャップのとりまとめ
- NFFに関する方法論ガイダンスの改定 等

シナリオ・モデルタスクフォース技術支援機関(TSU)

IPBES内の公募を経て、2024年3月、環境省の支援により(公財) 地球環境戦略研究機関内に設置

IPBES事務局(ドイツ・ボン)の一部として、本タスクフォースの活動に関するコーディネート全般を担う

- ・活動スケジュールの立案・管理
- ・タスクフォース会合の企画・開催
- ・専門家間・他のTSUとの連絡調整
- ・文献の収集・データ管理 等

